



日中企業連携PJ 2013年度・活動報告

2014年4月

2013年度日中企業連携PJ
東レ(株) 皆川 量之

世界から期待され、世界をリードするJIPA

日中企業連携PJのミッション

- ①年1回開催する連携会議を通じ、日中の企業間で特定テーマにつき情報／意見交換を行うと共に、その内容を会員に伝える。
- ②中国のパートナーである、
 - ・中国專利保護協會 (PPAC)、
 - ・広東省知識産権局／広東省知識産権研究会
 - ・上海市知識産権局／上海市知識産権服務中心 (SSIP) との強い繋がりを、継続して維持する。(本年度は中国專利保護協會 (PPAC) との会合中止)



日中企業連携会議

(中国側のパートナー)

上海知識産権局

広東省知的産権研究会



洪 副局長



郑常務副理事長



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

日本側メンバー(写真:上海会議全体写真)



竹本 JIPA副理事長
花本 JIPA常務理事
西尾 JIPA事務局長
海野人材育成グループ
古谷 専務理事付

◆特許出願戦略
日本ゼオン(山口美信)
コマツ(川柳淳)
日立製作所(奈良橋一也)
オムロン(堀口奈都子)

◆特許侵害回避と対応
テルモ(中野圭司)
パナソニック中国(何珊妹)
東レ(皆川量之)
ソニー(坂田瞬)



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

日中企業連携会議のテーマ

2013年度発表テーマ：「特許出願戦略」、「特許侵害回避と対応」

	上海／広州 (2012年度上海中止、広州開催)	北京
2005年度	「人の管理」「情報の管理」	「管理体制」「出願戦略」 「権利活用」「他社権利対策」
2006年度	「産学連携のあり方」 「大学と企業・契約の留意点」	
2007年度	「ブランド管理」「技術管理」	「インセンティブ」「技術管理」
2008年度	「戦略的特許網の構築」 「社内の知財教育」	「戦略的特許網の構築」 「社内の知財教育」
2009年度	「特許権の取得と他社対応」 「特許権の活用」	「特許権の取得と他社対応」 「特許権の活用」
2010年度	「職務発明と発明評価・報奨」 「特許権の活用」	「職務発明と発明評価・報奨」 「特許権の活用」
2011年度	「人材育成・知財教育」 「知的財産権の活用」	「人材育成・知財教育」 「知的財産権の活用」
2012年度	「出願・権利化」「権利取得後の管理と活用」	「出願・権利化」「権利取得後の管理と活用」



日中・企業連携会議の歴史

北京



上海

2010年度



職務発明チーム

「職務発明と発明評価・報奨」と「知的財産権の活用」に分かれて、プレゼンとディスカッションを行ったが、中国側の知財意識、実務レベルが大きく向上したこともあり、時間のやりくりにも苦労するほどの活発なものとなった。



知財権活用チーム

日中・企業連携会議の歴史

北京



上海

2011年度



人材育成チーム

午前中「人材育成・知財教育」、午後「知的財産権の活用」について、プレゼンとグループ・ディスカッション。総勢約100名という多数の参加者を得、極めて活発なディスカッションを行なうことができた。



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World



権利活用チーム

日中・企業連携会議の歴史

広州



グループディスカッション



全体討議



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

2012年度

成都(PPAC地方開催)

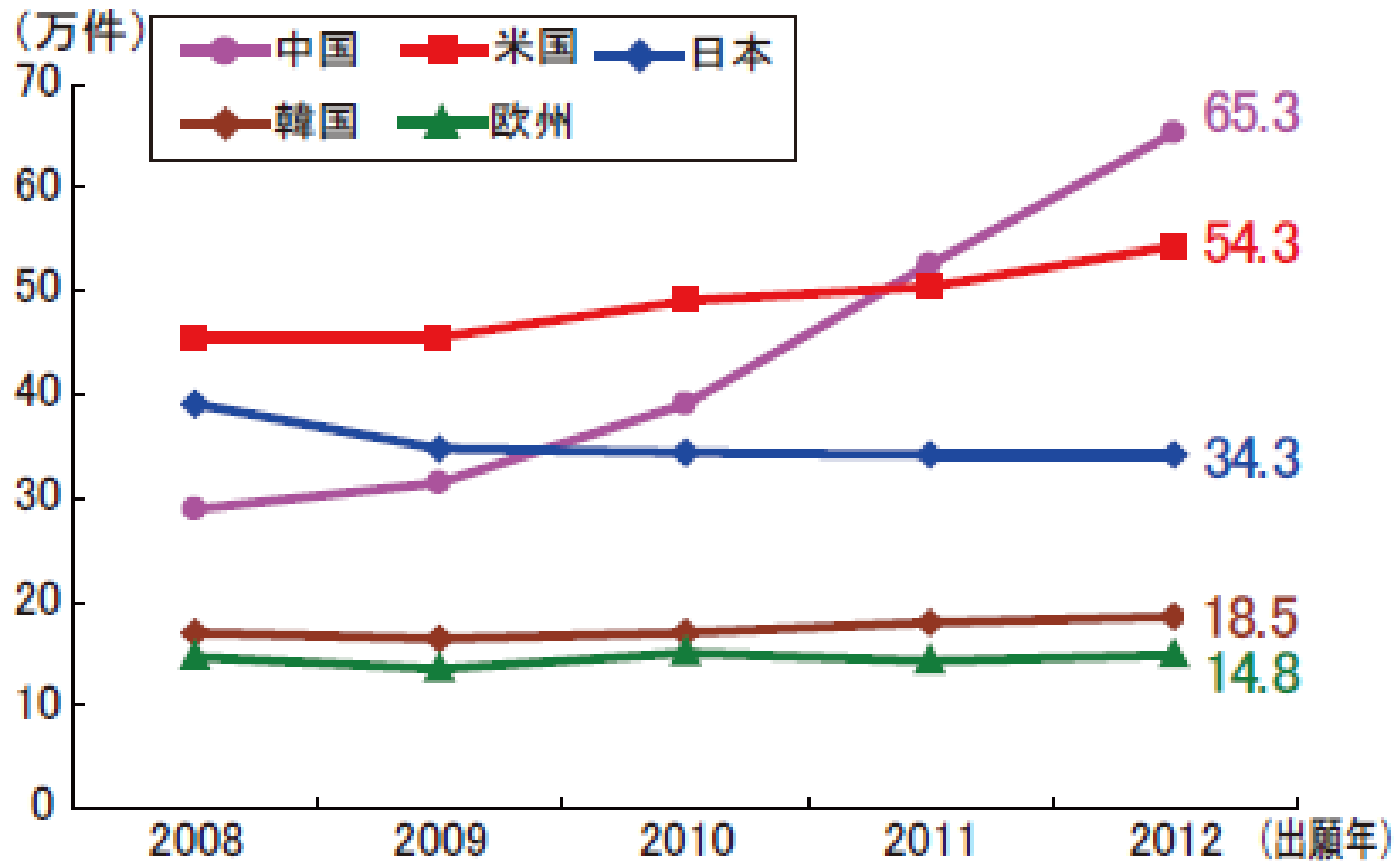


出願大国となった中国の企業が特に関心を抱いている「出願・権利化」および「権利取得後の管理と活用」というテーマを取り上げて、日中双方の企業からのプレゼンと活発なディスカッションを行いました。

2012年度上海会議は中止。

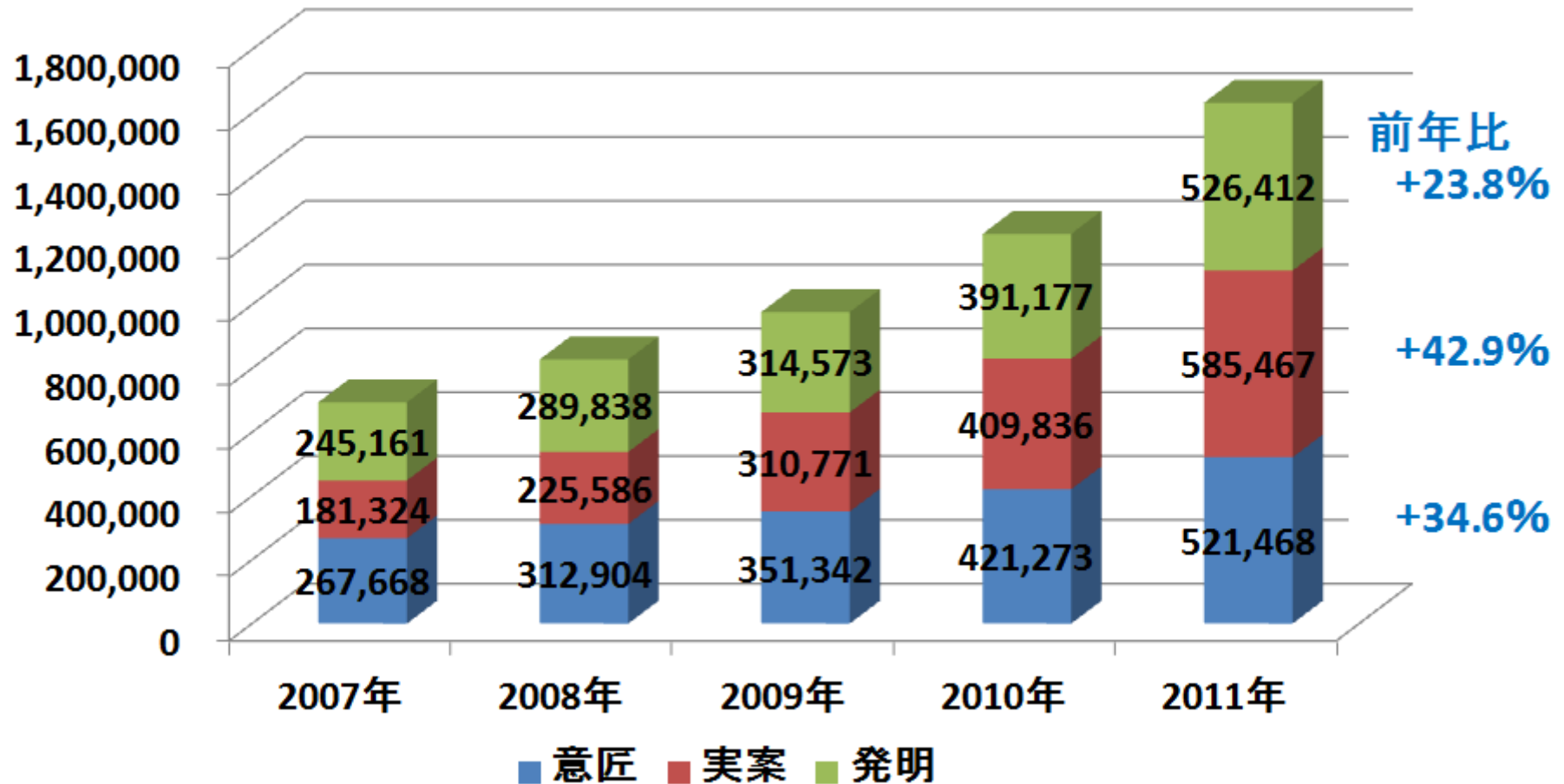
中国出願状況

1) 特許出願件数の推移



出典：2013年度特許行政年次報告書ダイジェスト

中国出願状況

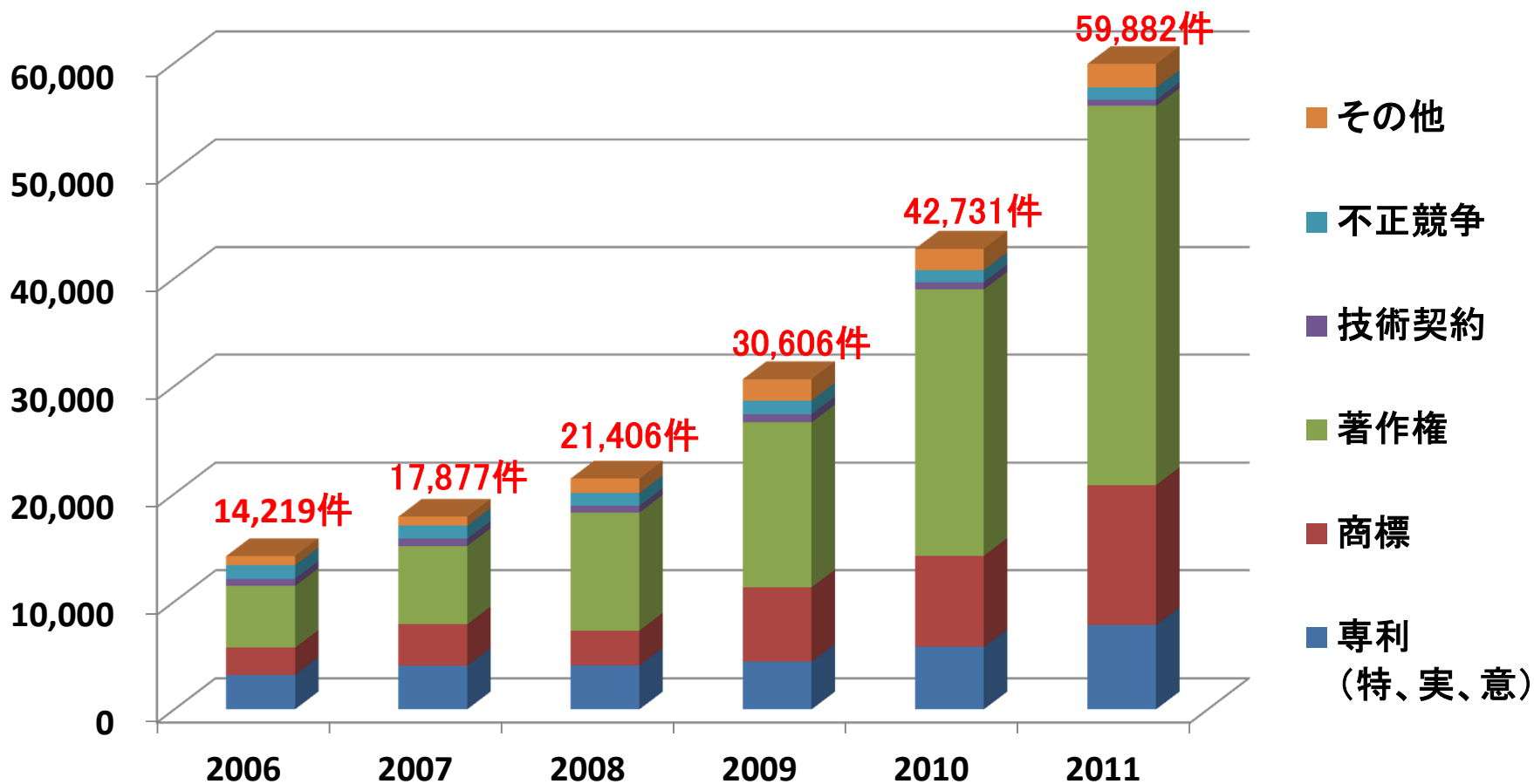


PCT出願件数ランキング

順位	2005	2010	2011	2012
1	PHILIPS(NL) 2,492	PANASONIC(JP) 2,154	ZTE(CN) 2,826	ZTE(CN) 3,906
2	MATSUSHITA(JP) 2,022	ZTE(CN) 1,863	PANASONIC(JP) 2,463	PANASONIC(JP) 2,951
3	SIEMENS(DE) 1,399	QUALCOMM(US) 1,677	HUAWEI(CN) 1,831	SHARP(JP) 2,001
4	NOKIA(FI) 898	HUAWEI(CN) 1,528	SHARP(JP) 1,755	HUAWEI(CN) 1,801
5	BOSCH(DE) 843	PHILIPS(NL) 1,435	BOSCH(DE) 1,518	BOSCH(DE) 1,775



中国知財訴訟状況



(注): 中国における知的財産権民事訴訟受理件数(一審)



中国の変化(2005年から2013年)

- ✓「Give & Give」から「Give & Take」へ
- ✓ 国家が知財活動を強力に推進
- ✓ 出願管理、棚卸への意識
- ✓ 権利活用、売買、譲渡の話題も
- ✓ 受身でなく能動の知財へ
- ✓ 標準化との関係にも興味
- ✓ 女性の進出(知財関係者に女性比率が高い)



第8回上海・企業連携会議

日時：2014年2月26日 場所：上海（上海家化）

テーマ	中方企業	日方企業
特許出願戦略	<u>上海復旦張江生物医薬</u> <u>中国医薬工業研究総院</u> <u>上海家化聯合</u> <u>加藍</u>	<u>日本ゼオン</u> （山口美信） <u>コマツ</u> （川柳淳） <u>日立製作所</u> （奈良橋一也） <u>オムロン</u> （堀口奈都子）
特許侵害回避と対応	<u>展訊通信（上海）有限公司</u> <u>上海貝岭有限公司</u> <u>上海和鷹機電科技股份</u> <u>上海昆杰五金工具有限公司</u>	<u>テルモ</u> （中野圭司） <u>パナソニック中国</u> （何珊妹） <u>東レ</u> （皆川量之） <u>ソニー</u> （坂田瞬）



第8回上海・企業連携会議

【特許出願戦略】(中方の状況)

- ・先発企業の出願動向をチェックするとともに、新技術はノウハウまたは特許出願として保護する。市場規模等を考慮し、US、EP、JP等へも展開する。実施例の充実、クレームとの整合を考慮して明細書を作成している。
- ・配合は特許出願またはノウハウとして保護し、パッケージ等は意匠出願を行う。自社実施しないが他社が実施し得る技術は、自社出願の明細書中に盛り込んで公知化を図るケースもある。
- ・化合物は特許出願、製法はノウハウとして秘匿する。
- ・国内展開しかしていないため、ほとんどが国内出願である。
- ・関心事: 関係部署との連携、特許の価値評価方法など

活用(訴訟)に対する意識は高い
権利活用の意識が強く、NPEが始め
めている。
訴訟のみならず交渉で争いを解決す
る場合もある。

【特許侵害回避と対応】(中方の状況)

- ・法務担当者が技術担当者、事業部門の担当者の報告に基づきリスク評価。
- ・権利侵害に関する実用新案の調査を行っていない。出願前の公知例調査には挙げている。法的な安定性は調査によって明らかにできない。
- ・中国国内において事業規模、パテントの件数及び売上が国内トップランクであるため訴訟はない。一方、海外では潜在的な顧客を絞り込んで、個別販売をしている。ライバルは当社の海外市場の売上について、殆ど知らない。国内外で訴訟を受けたことがない。
- ・対象確立⇒特徴確認⇒検索分析⇒対比分析⇒リスク評価⇒対策案の策定。



第8回上海・企業連携会議

出願戦略グループ



侵害回避・対応グループ



活発な質疑応答が行われ、本音での議論もされた。
資料だけでは読み取れない、各企業のポリシーやビジネスの考え方を聞くことができた。

米国での訴訟、標準化などについても中国企業の関心は高かった。中国での模倣品対策については中国企業も困っているとのことであった。



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

第8回上海・企業連携会議



各グループ日中企業間での熱いディスカッション後、
全体でラップアップセッション



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

第3回広州・企業連携会議

日時:2014年2月28日 場所:広州市(浙江大厦)

テーマ	中方企業	日方企業
特許出願戦略	BYD 中山隆成日用制品 中科院広州化学 美的集団	<u>日本ゼオン</u> (山口美信) <u>コマツ</u> (川柳淳) <u>日立製作所</u> (奈良橋一也) <u>オムロン</u> (堀口奈都子)
<u>特許侵害回避と対応</u>	広州杰賽科技 広東洛貝電子科技 ZTE 麗珠医薬集団股份	<u>テルモ</u> (中野圭司) <u>パナソニック中国</u> (何珊妹) <u>東レ</u> (皆川量之) <u>ソニー</u> (坂田瞬)



第3回広州・企業連携会議

【特許出願戦略】(中方の状況)

- ・自社特許の配置状況、他社特許の配置状況を的確に把握して、その後の出願戦略を進めている。
- ・日用品は変化が早いため、意匠や実案の出願が多い。意匠出願では、要部のみ出願するよう留意。
- ・コア技術を抽出し、その抽出技術を構成・製法等により多面的に保護。権利行使を考慮して、証明しやすい方式でのクレーム化や、パラメータの定義にも留意する。
- ・明細書の品質向上のために、専門チーム(知財、研究、代理人)の構築を重要視している。

- ✓ 総勢約130名参加
- ✓ グローバルを意識した知財展開
- ✓ 知財対応の組織化が進む

知財意識の向上、発表・ディスカッション内容のレベルアップに感心。

【特許侵害回避と対応】(中方の状況)

- ・各国のリーガルコストを考慮しながら訴訟戦略を考えている。請求額に応じて社内の決定権限が決まっている。
- ・全てのPJが立ち上がる前に各関係者に競合相手の調査報告書の提出を義務付けている。
- ・他社権利について定期的に検索をし、自社と比較の後、対策を決定する。会社が小規模であるためディフェンスに注力。
- ・中国ではNPEができたばかりであり、数は少ない。裁判所で認められる賠償額が小さいためと考えている。

19



第3回広州・企業連携会議



午前・午後に分かれてそれぞれのグループで日中企業でディスカッション



100名を超える聴講者であり、関心が高かった。また、聴衆からの質問も数多く行われ、有意義な会議であった。



-世界から期待され、世界をリードするJIPA-
Creating IP Vision for the World

日中企業連携会議

- ◆ 通訳・周さん、鄭さん
(会議を成功に導く重要な鍵の一つ)



昨年に引き続きお世話になりました。
今回は上海 逐次通訳、広州 同時通訳



今後も、日中企業の協調関係を
民民ベースで向上していきます。

－中国は、隣国です－



世界から期待され、世界をリードするJIPA
Creating IP Vision for the World

ご清聴ありがとうございました